



桔梗

第1566回例会報告

平成30年 9月6日 (木) 晴れ

会長告知

会長 北原 厚子

「幸せってなんだろう」

ロータリーの友月間

☆幹事報告

【報告事項】

- 1: 月信9月号が届きました。レターBOXに入れておきます。
- 2: ウィンドブレイカーのサイズを確認ください。注文します。

【連絡事項】

- 1: 来週13日は理事会があります。

【受領文書】

- 1: 理事会財団ニュースが届きました。回覧します。
- 2: 前年度ローターアクト地区大会報告書が届きました。回覧します。
- 3: 地区大会実行委員会より10月14日の受付開始時間が9時から8時40分からに変更の連絡がありました。また、地区大会の出欠を取ります。回覧表に記載をお願いします。

私は人は幸せになるために生まれてきたのだと思うのです。幸せって人それぞれ感じるものはいろいろあると思いますが、家族が健康でありいつも笑顔がある家庭。こんなささやかなことが、今、わたしにとっては一番の幸せです。もちろんこうしてクラブに会費を払えるのも幸せです。がんばってくれている社員のおかげだと思っています。



今月のロータリーの友に子どもの貧困、こども食堂を支援という記事が載っていました。

私もフードバンクを通じて、諏訪の地藏寺のこども食堂の支援をしています。毎月20~30人位の親子がお寺の庫裏で昼食をいただき飛び回っています。でも「来てほしい家庭の子どもやその親に来てもらうのは難しい」のが現状です。私はこども食堂のあり方も考えていく必要があると思います。しかし、フードバンクで集まった食品は市に登録されている生活保護者にも届けられます。今度はいつやるの?と皆さんが待っているのです。止める訳にはいきません。余った食品を捨てずに「もったいないをありがとう」に。捨てられる食品が再び命輝くのです。そして、そのすてられるはずだった食品も幸せですし、いただいた方も幸せになれるんです。

また、今月のロータリーの友にドイツのアーレンリメスRCがカットアンドレーストプロジェクトを実施したという記事が載っていました。1600時間以上もの共同作業を経て人気絵本の点字版を出版した。とのこと。点字版になったのはエリック・カールによる絵本「ね、僕のともしだちになって!」さまざまな動物の中から友達を探そうとするネズミの冒険のものがたりです。この点字絵本はロータリアンが14の作業グループに分かれて、多種多様な布地を張り付けて出来ています。また絵本にはプラスチックのおもちゃが11個ついていてこどもたちは、作品中に出てくる全ての動物の形を立体的に情報を感じることができます。同クラブは3年以上にわたってこのプロジェクトに約1万2000ドル(134万円)をかけて230冊を制作し、視覚障害者の施設へ寄贈しました。視覚に障害のある子どもの絵本はたくさんありません。触れられる絵本ならこどもたちは指を使って見ることができます。子どもたちの幸せな笑顔が見えてきます。私には職業を通じて夢があります。それは、体が不自由な方とその家族に旅をしていただくことです。しかし、諏訪はあまりにも障害者に優しくありません。もう少し障害者のための設備を整えて欲しいと思います。障害を持っているご本人もその方を介護していらっしゃるご家族も旅という非日常的な時間を持つことで心が豊かになれるのです。先日19歳の重度の障害を持つご家族がおじいさん、おばあさん、ご両親と5人で上諏訪のホテルに1泊し車椅子のまま貸切風呂に入り、その男の子とご家族の喜ぶ姿を見て、私も目頭が熱くなりとても幸せな気持ちでした。もっともっと多くの人たちにこの感動を味あわせてあげたい。私はこれから身近なところで人が幸せになる奉仕をしていきたいと思っています。

出席報告	ニコニコBOX	今週のことば
会員数 38人	5名	11,000
出席対象 38人	累計	155,000
出席者数 29人	目標額	60万円
出席率 68.4%	達成率	25.8%
前回修正 81.6%		

薩摩林様本日はありがとうございます。卓話宜しく申し上げます。北原厚子
 本日はお忙しい中、当クラブの例会にお越し頂きありがとうございます。
 会員一同、薩摩社長の卓話楽しみにしております。
 どうぞよろしくお願ひ致します。 太田 淳也
 お蔭様で孫が得度式を修了し、8/2の当寺のお施餓鬼法要で祭文師の大役を
 務めました。今後ともご指導宜しくお願ひ致します。 小林 聖仁

クラブ会報・雑誌広報 担当例会

～ロータリークラブの認知度向上・メディア活用～

株式会社岡谷市民新聞 代表取締役 薩摩 建様



メディアを大いに活用するために

1：新聞記事として取り上げやすいポイント

☆新聞社が求める記事とは？

公共性またはニュース性が欲しい

→一般を巻き込んだ活動

寄付・ボランティア活動

例えば・・・例会での外部講師の場合

公共性（誰もが知っている）

・市長や町長など身近な政治家

ニュース性

・有名人（時の人など）

☆プレスリリースをお忘れなく！

新聞の信頼度と、堅さ（良い意味での）をうまく使

うことが大事

2：何のために・誰に対して

☆現状

残念ながら、学生、若者は家で購読されていても、なかなか見てもらえていない。

一方で、年齢層があが得るほど、しっかり読んでもらえている。

☆悲しい現実

高校一年生対象の、地元企業の合同説明みたいな会場で親が読んでいない新聞を取っていないという子が多い。

☆若い層

何がベストの手段かは、分からない。SNSはプル型（自分で探す、呼び込む）紙のようなプッシュ型が考えにくい。

☆中高年

活動意識の認識がある

☆経営者など

会員増強へのPR

岡谷ロータリーでも増強は苦戦中

3：課題

「ロータリークラブへの入会での費用、時間に対するメリットが見いだせない」

→自分がメリットをしっかり見いだせていない。自分にとってのメリットが相手の欲しい

ところと一致しないため、良さをたえきれない。・・・「入りたい」に至らない。

大先輩にお聞きする中で、かつてはロータリークラブに入っていること自体が信頼に繋がった

「ロータリーに入っています。」それ以上は要らない。

☆今年、会員増強委員会の副委員長ということでプレッシャーを感じている中、思うところ。

奉仕活動の数々は知っているし、良い団体だとも分かるが・・・

メディアの使い方ではどうこうなるものとは違うと感じる。

自分もそうだが、ロータリークラブ自体をもっと理解して、ロコミ的に、その意味や良さを周りに伝えられるようになることも、大事なのかなと思う。